

筑波山で見られる 春の生き物たち

春になるとさまざまな生き物たちが活動を始めます。まだ寒い日が多い4月中頃には、ルリタテハやキタテハなど成虫で越冬するチョウがよく見られます。また、ツマキチョウやミヤマセセリは、春早くに羽化し、まだ花の少ない山ろくを元気に飛び回ります。

水辺ではガマの名称でおなじみのアズマヒキガエルの産卵が行われ、ひも状の長い卵塊が観察できます。



□ルリタテハ



□ミヤマセセリ



□ツマキチョウ



□アズマヒキガエル
オス(上)・メス(下)



□アズマヒキガエルの卵塊

あのさえずりはだれ？じつは がいらいしゅ 外来種のソウシチョウ(相思鳥)

登山道や山頂付近を歩いていると、とてもよく通る声のさえずりが聞こえてきます。その正体はソウシチョウ。ソウシチョウは別名コウライウグイスともいい、インドから中国、東南アジアに分布する鳥です。飼鳥として輸入されたものの一部が野生化し、筑波山にすみついてしまったものです。



□ソウシチョウ

りんしょう 林床の春を彩る いろいろ スプリングエフェメラル(春植物)

筑波山の山頂付近にひろがるブナ林や山ろくの明るい林床では、落葉樹が葉をひろげる前の春早くから、美しい花が咲き始めます。カタクリに代表されるスプリングエフェメラル(春植物)と呼ばれる植物の花です。

スプリングエフェメラルとは、「春のはかない命」という意味で、早春に芽を出し短い間で葉をひろげ、木々の葉がしげる前の明るい林床で足早に花を咲かせ、他の多くの植物が成長を始める5月頃には地上部を枯らして休眠に入る植物の総称です。

筑波山では、山頂付近のブナ林を中心に見られるカタクリ(ユリ科)のほか、キクザキイチゲやアズマイチゲ、ニリンソウ(キンポウゲ科)、ヤマエンゴサク(ケシ科)などのスプリングエフェメラルを見ることができます。



□カタクリ



□キクザキイチゲ



□ニリンソウ



□カタクリの実生

タネから発芽したばかりのカタクリ。花を咲かせるまでには7~10年かかるといわれている。



□ヤマエンゴサク

出会えた生き物には
✓をつけよう！
(鳥などは声だけでもOK!)



筑波山の自然観察(春季版)

発行：NPO法人つくば環境フォーラム Tel. 029-863-5151
協力・監修：ミュージアムパーク茨城県自然博物館
2010.09

筑波山の 春の自然

スタンプ&メッセージ

今日の観察と登山についてひと言・・・

年 月 日
なまえ



このパンフレットは「地球環境基金」の助成をいただいて作成しました。

春のブナ林

ブナ林は、筑波山を象徴する自然のひとつです。季節ごとに違った表情を見せるブナ林をのぞいてみましょう。



4月になると、木々の葉が開く前のブナ林では、あたたかい光が地表に降り注ぎ、カタクリなどが美しい花を咲かせます。その頃、ブナのこすえでは冬芽がふくらみ、赤みを帯びてきます。

5月になると、若葉が開くと同時にブナの開花が始まります。白い毛におおわれた丸い玉状の雄花はたれ下がり、黄色いおしべが出てきます。ブナの花は高い所で咲くので、あまり目にすることはありません。花の終わった雄花が木の下にたくさん落ちていたので、花が咲いたと気づきます。雌花は小さく、見る機会はほとんどありませんが、若い実が枝先に育つので、咲いたことがわかります。ブナは花粉が風で運ばれる風媒花です。

うぶ毛のようなやわらかい毛でおおわれた葉は、ひろがるにつれ薄緑色から明るい黄緑色に、やがて深緑色へと変わります。春のブナ林は足早に夏へと向かいます。



□ブナの実生



□開き始めたブナの芽(上)と
□ブナの雄花(下)

※ 筑波山は国立公園です。特別保護地区(山頂付近および南面)では一切の土石・動植物(昆虫・落葉落枝を含む)の採取、植物の植栽・種まき、動物を放つことは法令で禁止されています。

筑波山で見られる 春の植物

春の筑波山では、スプリングエフェメラル以外にも、かわいらしい草花を登山道のわきや開けた斜面、大きな木の根もとなど、さまざまな所で見つけることができます。また、春が進むにつれていろいろな木々が花を咲かせ、筑波山は一年で一番多くの花にいろどられる季節を迎えます。



□キブシ (3~4月)



□ユリワサビ (3~4月)



□トウゴクサハノオ(3~4月)



□ツルキンバイ (3~5月)



□フモトスミレ (3~5月)



□ヒナワチガイソウ (4月)



□タチツボスミレ (3~5月)



□ナガバノスミレサイシン (3~5月)



□アブラチャン(3~4月)



□ヤマツツジ (4~5月)



□ヤマブキソウ (5~6月)



□ヒイラギソウ (5月)



□トウゴクミツバツツジ (4~5月)



□ツクバネソウ (5月)



□オドリコソウ (4~6月)



□ヤマボウシ (5~6月)



□ハルトラノオ (4~5月)



□ツクバキンモンソウ(4~5月)



□エンレイソウ (5~6月)



□ミミガタテンナンショウ (5~6月)

出会えた植物には
☑をつけちゃお!

